

## 大学を目指す意味はどこにあるのか

昨年度の今頃は休校措置が解除される直前で、措置が解除される期待とは裏腹に、感染リスクとどう向き合うかで不安を抱えた人も多かったのではないかと思います。ここ数日、ウイルスの変異株が猛威をふるっているとの情報に接し、ウイルスとの闘いには予断を許さないことを改めて感じさせられます。

さて、3 学年の皆さんは 4 月以降、あらためて自分の進路について深く考え、この 1 年間でどう自分を成長させるかについてのビジョンをもって日々取り組んでいることと思います。昨日から中間考査が始まり、1 学期の成績(実質 3 学年の成績)をより高いものにしようという目標につながる取り組みをしている人が多いことでしょう。反面、目標が定まらず集中した勉強ができずに悩んでいる人、県大会などに向けた練習と勉強との両立ができずにいる人も少なからずいることでしょう。

4 月の学年集会では私は皆さんに「目標を明確にする」ことの大切さをお話しました。目標がなければ何かにつけ、なかなかモチベーションが高まらないからです。池江さんの競技に向かう姿勢を紹介しながら、「困難や失敗が人を強くする」というような通信も出しました。あれから早くも 2 ヶ月が経過しましたが、今の自分はどの段階にいるかについて考えてみてください。

さて、進路希望(目標)が明確にならない人に対し、「なぜ大学に行くのがいいのか」について述べてみます。現在、まだ目標が定まらず、大学より専門学校へ行ったほうがいいのかと考えている人は参考にしてください。

大学に行く理由や意味は人によって様々です。また、必ずしも大学に行かなければならないというわけでもありません。しかし大学に進学することで得られるメリットはたくさんあります。大学ではより専門的な内容を学べる大学での勉強は高校とは異なり、より専門的な内容となります。そのため、大学へ進学する学生は、その分野の勉強が好きだったり、または興味がありもっと知識を身につけたいという目的を持っていたりする人がほとんどです。特定の分野に興味を持つきっかけは人それぞれで、例えば文化祭で実行員会を行った際に、お金の計算や管理の楽しさを知り、経済学部へ入学したという例もあります。少しでも興味のあることを専門的に学べることは、大学へ進学する大きなメリットといえるでしょう。大学へ行くことで将来の選択肢が広がる自分の将来について選択肢を広げられるのも、大学進学の良い点です。**高度な知識を要する資格職は、大学を卒業しないとすることができません。また、建築士のように大卒が必須条件ではないものの、大学の専門学部で学ぶことで大きなアドバンテージを得られる職業もあります。**また、大学では自分の専門分野に加えて、教養科目や副専攻として様々な分野の学問を学ぶことができます。そのため、**将来やりたいことが決まっていなくていい人でも大学で広く学問を学ぶ中で、やりたいことを見つけられることがあるのです。**大学へ行くことで就職活動が有利になる大卒を条件として募集している企業は少なくありません。特に公務員や大手企業ではその傾向が強く、**大学を卒業することで就職活動の選択肢が広がります。**もちろん、大卒でなくても働ける企業はたくさんありますが、優秀な人材を求めて大卒を条件にする企業も多いのです。いざ就職したい企業を見つけた際、条件に合わず応募できないといったことを避けるためにも、幅広い社会への間口を期待する人は大学に進学しておくことが肝要です。

最近、実学・資格重視の専門学校と大学との間でどちらが有利か、という質問を受けます。将来自分のやること(職業)が明確になっている人は専門学校でもよいでしょう。ただし、進学した後に目指す職業を変更するとなるとその後の対応は大変になることがあります。もっとも大学に進学した後に調理師になりたいと専門学校に通いなおす人などもないことはないですが・・・進路指導を長く担当させていただいている中で、「専門学校に不本意に入学してしまった」という人は「大学に不本意に入学してしまった」という人よりも多いということはお知らせしておきます。

## 【全員共通】

### ・ 7月中旬からの「三者懇談会」自分の志望・受験の方向性を決める。

先日、進路希望調査を実施しました。昨年度の結果と大きく異なっていることの一つに進路希望が未定の人が少ないことです。昨年度はコロナの影響があり、オープンキャンパスも軒並み中止となったことで進路への目標が立てられない人が多かったのです。繰り返しになりますが志望が早く決定できる人は対策も早くたてられます。自ずと結果は自分にとってよいものとなる... という統計があります。親や教員に自分の将来の方向を決めさせるのではなく、自分の意志をもって方向性を決めてください。

### ・ 書類の提出は必ず期限までに。

これから皆さんは進路関係の書類を学校に出してもらう機会が増えます。「調査書発行依頼」など期限を守らなければ出願に影響するものも多いです。進路指導係では公平性を保つために皆さんにさまざまな書類の提出期限をしっかりと守ってもらうことを要求します。期限に遅れたらそれによって被る損失は責任が持てません。社会はそんなに甘くありません。

### ・ 学校の資料や入試要項等は自分の責任で手に入れる。

大学パンフレットや入試要項は自分で手配してください。進路指導室には「学校宛」に届いているものがありますが、これは「閲覧用」で持ち出すことができません。学校のHPなどでダウンロードできることが最近多くなっていますので、数日間に1回は希望する学校のHPにアクセスしてください。学校では「テレメール」で資料を容易に入手できるサービスを紹介しています。なお就職希望者は7月以降公表される「求人票」などで会社などを具体的に決めていきます。

\*進路指導室の「閲覧用資料」をコピーしたい時は職員に声をかけて1枚10円でコピーすることができます。

### ・ 社会人としての態度、マナーに磨きをかけよう

最近、進路指導室に（恥じらいがあるのか）無言で入ってくる人やノックをせずと入室する生徒がいます。残念です。就職希望の人は「面接試験」かならずあります。大学・短大・専門学校などの試験でも一般入試でなければほぼ全ての試験で「面接試験」があります。入室の態度や受け答え、姿勢、目線の安定、容姿・身なりは日常の生活がそのまま試験で出てしまいます。爪の色、髪の毛、ピアスの穴は大丈夫ですか。先生方や目上の方と話すときの態度はどうでしょう。毎日が「面接試験」というと毎日が緊張してしまいますが、場面場面で対応をきちんとできる社会人になることを意識しましょう。

### ・ 健康がすべての活動の源泉

肉体的にも精神的にも健全であることがすべての活動において大切です。しかし、すべての人が健康でい続けられるわけではありません。ちょっと体調が悪くなったり、プレッシャーや悩みを感じて心が折れそうになったり...。健康を損なうことはだれでもあります。しかし健康を損なわないように日々の生活を自分なりに調整することはできるはずです。深夜までゲームやSNSにふけて寝不足になったりすると翌日の授業などに集中できません。人間関係を円満にすることができずに悩んでしまう人もいます。そういったことは（すべてではないですが）、自分で予防をすることができると思います。不健康で生活が安定していない人は、意識的に自分生活を見直してみましよう。

## 【模試受験者ならびに進学補習希望者へ】

5月22日(土)を中心日として模試を受験した皆さん、中間考査前であるにもかかわらずよくいどみました。模試の結果が返却される前に分からなかった問題を解きなおし、分からなかったら先生にどんどん質問しよう。また、6月県大会終了後、部活にこれまで集中していた人は進学補習に積極的に参加してください。